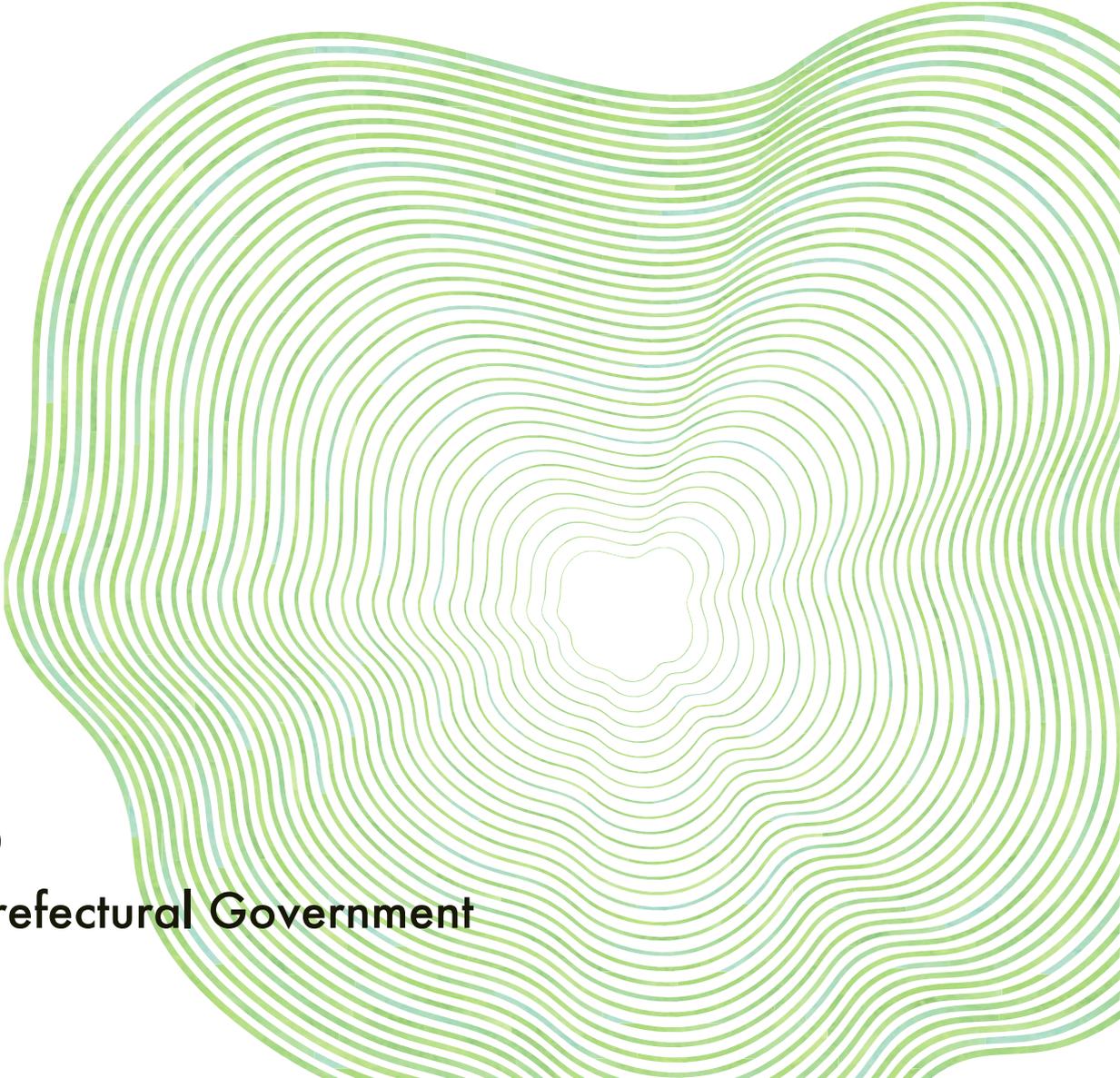


兵庫県 林学職

職員採用案内

2026

Hyogo Prefectural Government



MESSAGE

多様で健全な森林を次世代につなげる。

県土のおよそ70%が森林である兵庫県で、森林と人の暮らしをつなげる仕事。

県内の森林の40%ほどは人が植えたスギやヒノキなどの人工林、残りの60%ほどはかつて薪や炭などを採取していた里山林・広葉樹林です。

しかし現在、森林と人のつながりは薄れ、管理が行き届かない森林が顕在化しつつあります。

林学職は、林業・木材産業の振興、山地災害の復旧、野生鳥獣の保護管理などを通じて、森林と人の暮らしのあり方を再構築していきます。

五国といわれる多様で豊かな風土の中で働き、森林と人のために動く。

そんな働き方を選択してみませんか？





CONTENTS

P1～P4

兵庫県の林学職ってどんな仕事？
先輩職員にインタビュー！

P5～P6

林学職が携わる主な業務・トピックス

P7～P8

若手林学職員の1日を紹介！

P9～P10

兵庫県林学職に関するQ&A

P11～P12

配属先の特色紹介

P13

林学職のキャリアパス

「日本の林業を変える 仕組みを作りたい。」 森林に関する あらゆる事業を サポート。

農林水産部 林務課 木材利用班
主任【入庁12年目】

主な経歴

2013年度 姫路農林水産振興事務所 森林林業課 入庁
2016年度 朝来農林振興事務所 森林第1課
2019年度 公益社団法人兵庫みどり公社(出向)
2021年度 農林水産部 林務課 木材利用班



先輩職員にインタビュー！

今までどんな業務に携わってきましたか？

林業事業者への補助金支援、治山事業、森林整備を行う外郭団体への出向、県産木材の利用促進など…幅広く担当してきました。必要な知識は業務によって違いますが、根幹は森林に繋がるので、やりがいを持って取り組むことができます。

林学職の好きなところは？

大好きな“森林”という分野で世の中のために働けるところです！また、林学職は自然を好きな人が多いので趣味の合う人が多く、休日にも一緒に遊んだりすることもあり、和気あいあいとした雰囲気もけっこう好きですね。休日に若手職員で集まって自主勉強会やイベントを開催することも！

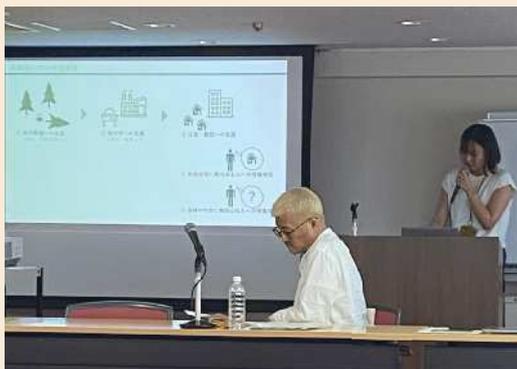
なぜ兵庫県を選びましたか？

私は大阪府出身ですが、兵庫県を選んだ理由は、「日本の林業を変える仕組みを作りたい」という想いが学生時代からあったからです。関西圏でも木材生産量が1位の兵庫県であれば、この夢に直接関わる仕事ができると思いました。

仕事での印象的なエピソードを教えてください！

ひょうごの木に“新しい価値”を見出す、
熱意と挑戦。

企業と連携し「ひょうごの木」をブランディングする新規事業を立ち上げた時の話。住宅や施設への補助事業だけでなく、県民や企業にもっと「ひょうごの木」を知ってもらうための事業も大事だと感じました。そこで、酒蔵など多様な分野の方と「ひょうごの木」とのマッチングで“新しい価値”を創出し、PR企画を考えるプラットフォーム事業を立ち上げ、多くの企業の方に「面白そう！」と参加してもらえた時は、本当に嬉しかったです。



民間企業に兵庫県の現状を説明

兵庫県には、様々な年代の熱意ある林学職員が働いています。仕事への想いやエピソードなど聞いてみました。

兵庫県 の林学職 ってどんな 仕事？

入庁2年目で
阪神・淡路大震災の
災害復旧を経験。
あの時の経験を胸に、
常に現場の最前線へ。

農林水産部 治山課 治山班
班長【入庁32年目】

主な経歴

1993年度 洲本農林水産事務所 治山課 入庁
2013年度途中 京都府に災害派遣
2014年度途中 丹波農林振興事務所 復興事業課
2024年度 農林水産部 治山課 治山班



今までどんな業務に携わってきましたか？

入庁して2年目の冬阪神・淡路大震災が起こり、その後も多くの災害復旧の現場を経験しました。これまで治山・林道・林地開発業務等を担当し、ほぼ森林土木一筋で仕事をしてきました。

これから入庁する人へ メッセージをお願いします。

林学職は森林に関わる仕事なので、長い年月を見据えた地味な部分も多いですが、業務内容は多岐に渡ります。環境問題や人命にもかかわる大事な仕事なので、仲間になって共に兵庫県の森林をより良くしていきましょう。



県内各地の小学校で防災教室なども開催。防災においては、災害の経験を伝え、県民の防災意識を高めるソフト対策も重要な仕事です。

仕事での印象的なエピソードを教えてください！

地域の「ありがとう」に支えられる、
災害対応の使命感。

阪神・淡路大震災の時の話。県内外から多くの技術職員が応援に駆けつけました。山地災害も多く、応援職員は迅速な現場状況の把握により次々と復旧計画を提案。当時の私は、こんな職員になりたいと強く思いました。年月は経ち、山地災害の発生時にいち早く現場から復旧計画が報告され、あの時学んだ「迅速な判断で次につなげる」という理念が、根付いていると実感。復旧後、地元の方からの「ありがとう」の言葉は心が揺さぶられます！



復旧工事の計画を地域住民に説明する様子

現場一筋、31年。 技術力を生かし、 県民に還元する。

但馬県民局 朝来農林振興事務所
森林第1課 所長補佐兼課長
【入庁32年目】

主な経歴

1993年度 社農林事務所 治山課 入庁
2011年度 姫路農林水産振興事務所 森林林業課
2019年度 県立森林大学校
2023年度 朝来農林振興事務所 森林第1課



今までどんな業務に携わってきましたか？

林務系に15年間、森林土木系に16年間携わっており、現場一筋の31年間でした。林務系は林業労働・金融、森林計画、造林事業、木材利用、特用林産、森林病虫害防除、林業普及などを担当。森林土木系は治山事業、保安林・林地開発業務、市町営林道補助事業、県民緑税事業などを担当。鳥獣行政と県営林道事業を担当すると、林学職の仕事コンプリートです。

林学職の好きなところは？

物事を幅広く考えるところが好きです。時間や空間、社会環境など一つとして留まるものはなく、変動するものに対応していく楽しさがあります。

育児休暇を取得時の感想は？

兵庫県林学職の初代育児取得者です(笑)。制度ができてから間もない時で、当時の上司は代替職員を確保するのに相当ご苦労されたようですが、困った顔ひとつされず、「無事に産まれるといいね」と応援してくださったことを今でも鮮明に覚えています。上司や先輩職員のサポートのおかげで、育児に専念できたことを今でも感謝しています。

仕事での印象的なエピソードを教えてください！

災害時こそ思いを一つに、
地域全体で連携する

私が県民緑税事業を担当していた時の話。台風による大雨で、山地災害が多発しました。被害箇所数は100を超え、市町職員とともに一つずつ現場を確認し、工事が必要な箇所は治山課へ引き継ぎ、森林の機能強化は県民緑税事業で対応することに。事業を指揮する県職員、施工する(公社)ひょうご農林機構、地元調整を行う市町職員が一丸となり、約70箇所を3年かけて復旧。皆の思いが一つになるとすごい力になると感動しました。



森林大学校の実習のひとつ。学生の安全確保のため、伐採手順や周囲の確認などに余念がありません。

グローバル・ローカル 両方の視点を生かし、 人・森林・野生動物の 共生社会を目指す。

環境部 自然鳥獣共生課 被害対策班
班長【入庁26年目】

主な経歴

1999年度 但馬高原林道建設事務所 工務第2課 入庁
2006年度 農林水産部 森林動物共生室 保護管理係
2020年度 森林動物研究センター 業務部
2022年度 環境部 自然鳥獣共生課 被害対策班



今までどんな業務に携わってきましたか？

野生鳥獣関係の業務に12年間と最も長く従事。その他は森林土木系が10年半、林務系が3年半。元々鳥獣関係の仕事に興味があったのですが、それ以外の業務にも携わることで、新たな仕事の視点や業務スキルの幅を広げることができています。

なぜ兵庫県を選びましたか？

兵庫県は太平洋側から日本海側まで多様な自然と、都市から地方まで多様な社会環境があり、野生動物の種類と生息数も多いことから、林学職の業務を通じて様々な形で野生動物管理に関われると考えて兵庫県に入庁しました。

林学職の好きなのところは？

林学職の仕事はグローバル・ローカル両方の視点を活かして、人と森林と野生動物の調和のとれた共生社会を作り上げることができる、大変やりがいのある仕事です。是非、チャレンジしてください！



野生動物による被害をみんなで考えてもらえるよう、各種イベントで野生鳥獣対策について普及しています！

仕事での印象的なエピソードを教えてください！

保護と管理のバランスを探る、野生鳥獣との共存への挑戦

念願だった野生鳥獣関係の仕事に就けた時の話。野生鳥獣による農林業被害などを減らし、人と共生できる社会を目指すため、個体数や生息地の管理方法、被害の原因解明により得られた防除技術の活用を定めた“特定鳥獣保護管理計画”を策定。計画策定時には、研究者や行政関係者、農林業団体、狩猟団体、保護団体、一般県民など様々な利害関係者と意見交換を実施。様々な意見を聞くことで県行政マンとして多角的な視点を得られました。



林学職が携わる主な業務・トピックス



▶ 高性能林業機械で間伐木を造材

林業振興

- 治山対策
 - 土砂災害を防ぐ治山ダム等の設置
 - 防災知識の普及・啓発
- 「県民緑税」を活用した災害に強い森づくりの推進
 - 高齢人工林を針広混交林や広葉樹林へ誘導
 - 里山林の防災機能を高める森林整備
- 多様な担い手による森づくり活動の推進
 - 森林ボランティアの育成、企業の森づくりの推進
- 保安林制度の運用、森林病虫害への対策
 - 森林法に基づく保安林・林地開発許可制度の運用
 - 松くい虫被害等の防除



▲ 里山林における森林整備の実施

木材供給機能、水源かん養、県土の保全など、森林の様々な機能を高度に発揮させるため、「資源循環型林業」を推進

- 森林整備、林道・作業道等の路網整備への支援
 - 森林情報を管理するクラウドシステム等による森林経営計画等の作成支援
 - 森林整備・路網整備に係る補助事業の実施及び指導・助言
- 林業労働者の安定的確保、森林組合の育成強化
 - 林業新規就労希望者へのPR活動及び資金援助の実施
 - 雇用管理者の資質の向上を図るための研修会の開催
- 県産木材の安定供給及び需要拡大
 - 木材加工施設の設備導入への補助及び融資事業の実施
 - 県産木造住宅の建築促進、公共施設の木造・木質化の支援



▶ 施工中の治山ダムの現場を確認

森林保全

山崩れや土石流、地すべり等の山地災害から県民の安全で安心な暮らしを守るため、森林機能を高める各種施策を実施

森林動物研究センターの研究成果を活かした計画づくりや研修会など全国に先駆けた取り組みのもと、人と野生動物の共生をめざす

● 野生鳥獣の保護管理(ワイルドライフ・マネジメント)の推進

- 鳥獣保護管理に関する計画の作成
- 県、市町が連携して被害管理や個体数管理など各種施策を推進

● 野生鳥獣の被害対策などの実施

- 狩猟者への捕獲報償金交付など、シカ、イノシシの捕獲推進
- 被害防止のための防護柵の整備支援や維持管理方法の普及
- 人と野生動物のすみ分けを図るバッファゾーン整備

● ジビエ利活用の促進

- シカ肉等処理加工施設の整備を支援
- ジビエの普及啓発

● 狩猟後継者の確保・育成

- 狩猟免許試験、狩猟者向け研修会の実施

調査されたクマの捕獲



野生鳥獣被害対策

POINT

兵庫県の特徴的な施策

(協)兵庫木材センターによる 県産木材流通体制の強化

● 設立の背景と課題

県の木材流通体制は小規模事業者のもと、多品目の少量生産により多様なニーズに対応してきたが、高品質・低価格での安定供給というニーズには対応が難しく、それに対応した外材に建築用材のシェアを奪われていた。

● 兵庫木材センター設立

県産木材が「品質・価格・供給力」で外材に競争できる体制を構築するため、林業事業者や製材事業者等が協同して丸太集積から製材加工まで一体となる大型加工施設整備の取組を支援し、平成22年に稼働した。結果、県内の素材生産量は大きく増加した。

● 目指すべき姿

中小の林業事業者や製材工場に対しても、さらに体制の強化を支援し、県内の林業・木材産業の活性化を進める。



協同組合 兵庫木材センターの全景

震災の経験を活かした R・R併用法の開発

● 開発の背景と課題

阪神・淡路大震災の際、六甲山系において地震やその後の降雨が原因となる山腹斜面の崩壊が多数発生したことから、大規模地震発生時における山腹崩壊対策工法の開発を行った。

● R・R(ロープネット・ロックボルト) 併用法とは

ロックボルトを斜面直角方向に打ちこみ、その頭部を支圧板とロープネットで連結して斜面安定を図る工法。降雨や地震時の斜面変形を抑制する効果があり、設置時に樹木の伐採が不要で、施工しやすいなど特徴がある。

● 目指すべき姿

近年増加する地震や局地的な豪雨による山地災害の発生を予防するため、自然環境や景観に配慮したR・R併用法による対策・普及を進める。



R・R併用法を施工した山腹斜面

森林動物研究センターと 連携した野生鳥獣管理

● 設立の背景と課題

設立以前より県内のシカ頭数は全国で上位であり、深刻な農林業被害が発生していた。被害を減らすには、シカ等の野生鳥獣の数を減らす必要があるが、減らしすぎると生態系バランスが崩れる恐れもある。多様な価値観を有する県民や関係団体との合意形成も必要となる。

● 森林動物研究センター設立

科学的根拠に基づく野生鳥獣の保護管理を実現する拠点として、全国に先駆けて平成19年に設立。

● 目指すべき姿

研究成果に基づく獣害対策を提案するとともに、人材育成や一般県民への普及啓発を実施することで、順応的な野生動物の保護管理を進める。



森林動物研究センター

TIME SCHEDULE

若手林学職員の

若手林学職員 その1

神戸県民センター 六甲治山事務所
工務第2課 副主任 【入庁4年目】



なぜ兵庫県の林学職員になろうと思った？

趣味が登山ですので山に携わる仕事がいいなと思っていました。その中でも兵庫県を選んだのは、「他府県の説明会を見て、兵庫県が一番おもしろそうと思ったからです。」と、採用面接では答えましたが…本当の理由はちょっと違います。お知りになりたい方は直接聞きに来てください！

現場到着

私の勤務する部署は事務所から現場まで公用車で片道約1時間半かかります。遠い。でも、ドライブの時間が結構好きだったりします。

監督員業務(～11:30)

現場で工事請負業者とコミュニケーションを取り、現場確認・指示等、監督員業務を行います。



出勤・メール確認

まずは出勤。メールのチェックをします。

現場へ出発

自分が担当している治山工事の現場へ公用車で向かいます。

8:45

9:00

10:00

10:30

11:00

12:00

私の勤務する事務所の1日を紹介します！

私の勤務する本庁の1日を紹介します！

Interview



なぜ兵庫県の林学職員になろうと思った？

幼い頃からずっと自然の多い場所が好きだったこと、大学で学んだ森林関係の知識を活かしたいと思ったことから、住み慣れた兵庫県で自然に関わる仕事がしたいと思い、志望しました。

電話対応

私の業務は事務所や林野庁とのやりとりがメインです。初めは電話対応が苦手でしたが、様々な部署と電話のやりとりをするうちに苦手意識はなくなりました。



上司と相談

事務所からの問い合わせの内容について、本庁の回答が地方機関全体の方針になることもあるので、上司に都度報告・相談します。上司への説明資料を作る機会も多いです。

若手林学職員 その2

農林水産部治山課
副主任 【入庁6年目】

出勤・メール確認

本庁は様々な事務所の職員と関わることが多いので、確認するメールが多いです。

1日を紹介!

各配属先で活躍する若手林学職員。どんな1日を過ごしているか、プライベートも含めインタビューしました!

Interview

休日はどうやって過ごしてる?

最近はお犬・妻と一緒に出掛ける、家でぐうたらする、大阪の実家に帰るなどしています。登山もしたいのですが、なかなか行けていません。



昼食

現場に出る日はこれが一番の楽しみです。美味しいものだけでなく、店選びはいつも悩みます。

事務所到着

ここから業務終了時刻まで、今日行った現場の状況等を整理したり、現場に行っている間に来たメールを返したりします。



Interview



これから入庁する人へメッセージ!

どこで働くかは結構重要なポイントじゃないかと思います。兵庫県内で働きたいと思う方、その中でも特に山・自然に興味のある方なら、これほど性に合う職場はない!とっていますので、兵庫県林学職員になることを検討してもらえると嬉しいです。



Interview



退勤

繁忙期や残業はある?

ないです。と言いたいですけど…笑なるべく残業はしないよう、効率の良い仕事のやり方を習得しながら日々頑張っているところです。

00

13:00

14:00

16:00

17:30

17:45

農林事務所と会議

事務所から個別相談を受けることも多いです。対面・オンラインを使い分けて会議をしたり、必要に応じ現場へ出向きます。

昼食

いつもはお弁当ですが、本庁周りは外食にも困りません。元町はカレーのお店がたくさんありおすすめです!

見た目は華やかな3種のあいかけカレー



休日はどうやって過ごしてる?

体を動かすことが好きなので、休日はアウトドア趣味でリフレッシュしています。関西に住む友達や職場の同期とサイクリングやスノーボード、年次休暇を取得して旅行に行ったりしています。平日も土日も全力で楽しむことがモットーです!

Interview



Interview



繁忙期や残業はある?

普段は残業しないよう心がけています。災害対応で遅くまで残業することもあります。その時は使命感を持って頑張ります。

退勤

Interview



入庁後にギャップを感じたことは?

初めは公務員ってデスクワークの仕事ばかりでつまらなそう...というイメージだったのですが、実際は現場第一線の仕事ということが一番のギャップでした。常に自然と関わっていられるところが林学職の一番の魅力です。

山地災害発生直後に現場に行くこともありました。



会議内容をとりまとめ

会議で決まったことを資料にまとめて課内で共有します。

兵庫県林学職に関する

Q&A

若手職員が「入庁前に知りたい!」と思った疑問を集めました。リアルにお答えします!

Q 森林系以外の学部・学科から
でも受験できますか?

A 大丈夫です!

学生時代の専攻が環境系や土木系など、森林関係ではなかった林学職員も多数在籍しています。仕事を始めてから覚える知識がほとんどですので、心配不要です。

Q 在宅勤務はできますか?

A はい、可能です。

兵庫県ではコロナ禍を経て在宅勤務ができる環境が整っています。現在も各々の業務の予定に合わせ、毎週在宅勤務日を取り入れている職員はたくさんいます。

Q どんな内容の研修が
受けられますか?

A 多岐に渡ります。

公務員として必要な知識や法律を学ぶ研修から、林学職の業務に直接関係する技術的な研修まで、職位に応じてその都度受けることができます。

Q 仕事内容は移動で変わりますか?
A 変わることもあります。

林学職の仕事はP5〜P6に掲載している業務がほとんどですが、その中で異動により仕事内容が変わることもあります。他部署への配属もあるので、仕事内容は多岐にわたります。本庁では県全体の企画立案、計画の管理、予算の総括などを行います。地方機関では本庁で定めた方針を基に、実際の現場に立ち、適切に予算を執行するための業務を行います。

Q どの大学の
出身者が多い?

A 鳥取大学、京都府立大学、
京都大学、島根大学、兵庫
県立大学などです。

上記のほか、愛媛大学、名古屋大学、新潟大学、北海道大学、東京農工大学など、各地から兵庫県に就職しています。また、兵庫県立森林大学校の出身者や県内・県外高校の卒業生なども多数在籍しており、多様な経歴や出身地の職員がいます!

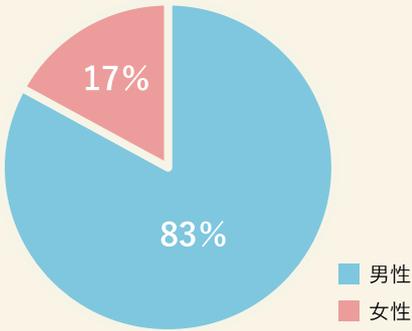


林学職員の年代や

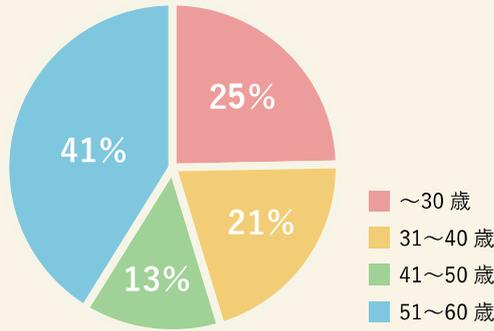
男女比率は？

A 20代〜30代や
女性職員の割合は
年々増加傾向に。

男女比率



年代別比率



Q 年次休暇は取りやすい？
平均的な日数は？

A 年次休暇取得日数...13.4日！

(R6全庁のデータ)

業務内容や時期によりますが、年次休暇は取りやすいと感じている職員が多いです。各自の都合に合わせて、1時間単位で取得できます。1週間連続で取得し、長期で旅行に行く職員もいます！

職員の居住エリアは？

Q 単身赴任はありますか？

A 臨海エリアに住む職員は約7割

兵庫県の林学職員の主な配属先は県内広域にわたるため、単身赴任をしている職員もいますが、自宅から電車や車等で通勤している職員がほとんどです。また、神戸・阪神間、JR山陽本線沿線等の臨海エリアに住む職員の割合が約7割を占めています。



Q 居住に関する福利厚生はありますか？

A 職員用の集合住宅や、引越し等に
必要な手当も用意しています。

職員用の集合住宅（昭和37〜平成11築）が各地域にあり、低廉の家賃で入居することも可能です。引越しが必要な場合は距離に応じた赴任旅費や、民間の賃貸に住む場合は家賃手当もあります。新規採用職員は配属先が決まり次第居住先を決める流れになります。



Q 育児休業取得率はどのくらいですか？

A 男性...86.8% 女性...100% (R6全庁のデータ)

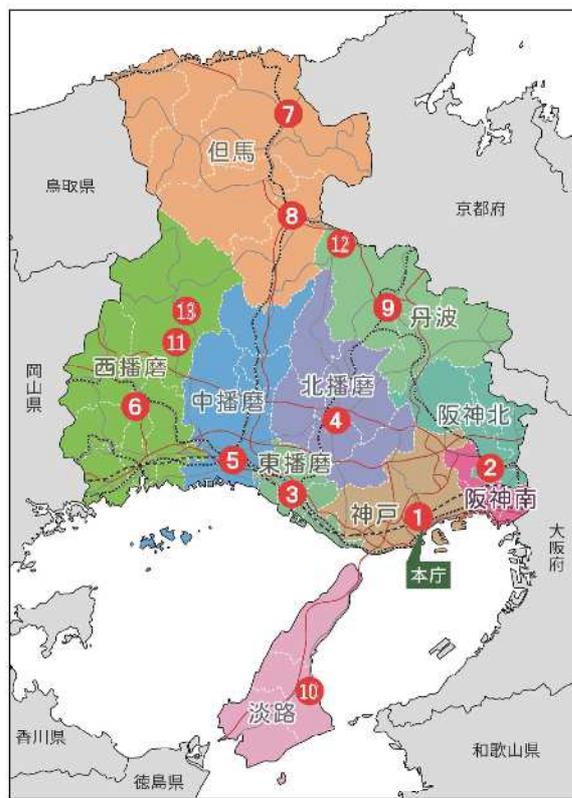
女性は100%の取得率です。男性においても、取得推進の動きもあり年々増加傾向に。3才までの子供を養育する多くの職員が育児休業を取得し、育児休業の取りやすい環境と感じている職員が多いです。

配属先の特色紹介

林学職の主な配属先は県内各地域に渡ります。兵庫県は県土面積が広く、各地域の文化や気候風土も様々です。ここでは、それぞれの配属先やその地域の特色を紹介します！

● 主な配属先

本庁	農林水産部 ……………	林務課 治山課
	環境部 ……………	自然鳥獣共生課
地方機関	神戸県民センター ……	① 神戸農林振興事務所 六甲治山事務所
	阪神北県民局 ……………	② 阪神農林振興事務所
	東播磨県民局 ……………	③ 加古川農林水産振興事務所
	北播磨県民局 ……………	④ 加東農林振興事務所
	中播磨県民センター ……	⑤ 姫路農林水産振興事務所
	西播磨県民局 ……………	⑥ 光都農林振興事務所
	但馬県民局 ……………	⑦ 豊岡農林水産振興事務所 ⑧ 朝来農林振興事務所
	丹波県民局 ……………	⑨ 丹波農林振興事務所
	淡路県民局 ……………	⑩ 洲本農林水産振興事務所
	研究機関等	……………



地方機関

神戸

① 神戸農林振興事務所／六甲治山事務所

兵庫県一の人口を抱える神戸市は、都市部の南側は瀬戸内海、北側に六甲山があり、京阪神間のアクセスが良い。人工林は少ないが六甲山系に里山林が存在している。六甲治山事務所では六甲山における大規模な治山工事が多い。都市部に向けた県産木材の普及啓発も活発に実施している。



六甲山から見た治山ダムと神戸市

所管市町：神戸市（六甲治山事務所は阪神エリアも所管）

森林率40%
人口林率8%

阪神北

② 阪神農林振興事務所

阪神地区は都市部のイメージも強いが、管内には日本一の里山と言われる地区もあり、里山林が多い。菊炭などの里山林の活用も進んでいる。都市部と里山林に近いこともあり、鳥獣保護に関する問い合わせも多い。なお、配属される林学職員数は少ない。



川西市の里山林

所管市町：尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町

森林率50%
人工林率9%

東播磨

③ 加古川農林水産振興事務所

県内事務所で一番管内の森林面積が小さく、田園部が広がる地域。ため池が多いことでも有名。在来工法での木造住宅の建築が多く、木材利用が盛ん。配属される林学職員数は少ないため、様々な分野の事業を担当する。



東播磨地域に多いため池

所管市町：明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

森林率16%
人口林率8%

北播磨

④ 加東農林振興事務所

田園部の農業や地場産業が盛んで、酒米の「山田錦」が全国一の主要産地。三木山森林公園をはじめとした森林のレクリエーション施設も多くある。特に管内の多可町は、里山林や人工林も多く、多自然地域でありながら住民主体の地域運営が活発である。



三木市の三木山森林公園

所管市町：西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町

森林率54%
人工林率30%

中播磨

⑤ 姫路農林水産振興事務所

管内南部には姫路城や播磨灘など観光名所や都市部、工業地帯が広がり、里山林も多い。北部は人工林が多く林業も盛んである。南北に広い管内は積雪地域から温暖な瀬戸内気候の地域まで気候の違いも大きい。南部は県内各地域へのアクセスが良好で居住地に選ぶ林学職員も多い。

所管市町：姫路市、神河町、市川町、福崎町



神河町砥峰高原のススキ

森林率66%
人工林率54%

西播磨

⑥ 光都農林振興事務所

管内は森林が多く、近畿最大級の原木取扱量を誇る木材市場や製材工場、バイオマス発電所などもあり、林業が最も盛んな地域。また、県南部の林道を管理する部署がある。県内の林業の代表地でもあり、配属される林学職員数は多い。

所管市町：相生市、赤穂市、たつの市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町



宍粟市の山崎木材市場

森林率79%
人工林率48%

但馬（北部）

⑦ 豊岡農林水産振興事務所

日本海側に面する積雪地帯であり、城崎温泉などの温泉地も多い。神戸からのアクセスは車で約2時間程度。森林面積も大きく、野生鳥獣の生息密度が高いため、シカ等の林業獣害も多い。クマの出没も多く見られるなど、被害対策は大きな課題である。

所管市町：豊岡市、香美町、新温泉町



但馬地域に多いシカ

森林率82%
人工林率46%

但馬（南部）

⑧ 朝来農林振興事務所

内陸部の積雪地帯であり、冬季はスキー客も多い。但馬地域全体で地すべり地帯が多いため、朝来農林振興事務所が但馬全域の地すべり防止区域を管理する。また、県北部の林道を管理する部署がある。木材市場もあり、林業は盛ん。西播磨管内と並び、配属される林学職員数は多い。

所管市町：養父市、朝来市



但馬地域の地すべり

森林率84%
人工林率63%

丹波

⑨ 丹波農林振興事務所

阪神間とのアクセスが良く、自然豊かな地域であることから、近年移住者が多い地域。栗や黒豆などの特産品も多い。木材市場もあり、林業は盛ん。小規模で持続可能な林業を行う事業者や、県産木材を利用したワーケーション施設を運営する企業など特色のある事業者が多い。

所管市町：丹波篠山市、丹波市



県産木材を利用した椅子

森林率75%
人工林率45%

淡路

⑩ 洲本農林水産振興事務所

明石海峡大橋で神戸市と繋がる島であり、タマネギやハモなどの特産品が有名。近年観光地としても注目を浴びている。林業は盛んでないが、島内の木材利用や竹林整備に取り組む団体も増えている。また、イノシシなどの野生鳥獣も多く森林・農業被害が見られる。神戸からバスで通勤する職員も多い。

所管市町：洲本市、南あわじ市、淡路市



淡路島公園からの明石海峡大橋

森林率51%
人工林率9%

研究機関等

⑪ 森林林業技術センター

西播磨地域に位置し、林業、森林病害虫防除、森林の公益的機能の維持、県産木材の利用促進などに関する技術の開発・研究を実施している。



センター研究棟

⑫ 森林動物研究センター

丹波地域に位置し、野生動物の保全と管理（ワイルドライフ・マネジメント）のための調査研究や普及啓発を実施している。



センター正面玄関

⑬ 県立森林大学校

西播磨地域に位置し、次代の林業を担う人材等を幅広く育成するため、林業や木材に関する専門知識や技術等を学ぶ専修学校である。



実習の風景

林学職のキャリアパス

勤続年数の目安 ※大卒の場合	主な職位		必要なスキル		研修
	本庁	地方機関	専門	基礎	
12年～	班長・主幹	課長	<p>様々な行政経験を 重ねながら、スキルの 高度化を図る</p> <p>補助事業等施策の 立案施行 林業普及指導 森林土木技術 関連法令・制度の 知識</p>	リーダーシップ 人材育成 課題解決力	農林水産関係研修(リーダー・中堅・若手) 林野庁・国研究機関等派遣研修
	(5級)			リーダーシップ 後輩指導 政策形成力	
9～11年	主査	課長補佐・主査		調整力、交渉力 業務改善	若手林学 職員研修 新任林学 職員研修
	(4級)			チームワーク 正確性、迅速性 基礎的業務処理	
5～8年	主任 (3級)				
1～4年	副主任 (2級)				
	主事 (1級)				

異動・配属の考え方



勤務条件

- 初任給(神戸市内勤務)【令和8年度】**
 大卒程度 259,000円程度(新卒者) / 高卒程度 226,100円程度
 ※給与改定により変わる場合があります。
- 期末・勤勉手当(ボーナス)**
 基本給与等の1ヶ月をベースに、年間4.65ヶ月分(令和7年度実績)が支給されます。
- 勤務時間・有給休暇**
 勤務は月曜から金曜までの完全週休2日制、1日の勤務時間は7時間45分で、E勤(8:15～17:00)、A勤(8:45～17:30)、B勤(9:00～17:45)、L勤(9:30～18:15)の4区分あります。年次有給休暇は、1年間に20日(4月新規採用者は15日)あり、一定の日数を繰り越すことができます。そのほか、特別休暇(夏季、結婚、出産、忌引など)があります。
- 昇任制度**
 昇任は、勤務成績、経歴などの総合評価により決定されます。また、毎年1回希望する職務分野やポスト申告する機会を設けており、積極的に意欲のある職員の登用を図っています。

林学職採用試験の状況

	大卒程度		経験者		高卒程度	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6
受験者(人)	36	21	5	4	1	1
合格者(人)	10	14	1	1	1	0
競争倍率(倍)	3.6	1.5	5.0	4.0	1.0	-

- お問い合わせ**
 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
【林務課】 TEL:078-362-9222 FAX:078-362-3954
 E-mail:rinmuka@pref.hyogo.lg.jp
【治山課】 TEL:078-362-4287 FAX:078-362-3952
 E-mail:chisanka@pref.hyogo.lg.jp

兵庫県ホームページ「職員採用情報」でも試験日程・過去問題等を掲載しています。詳細はこちらから → <https://web.pref.hyogo.lg.jp/recruit/index.html>